

全国

ぜんこく  
しぎかいじゅんぼう

平成18年  
(2006年) 4月25日  
毎月3回5の日に発行

第1614号  
定価 1部20円

発行 全国市議会議長会  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-2  
TEL 03(3262)5237  
発行人 大竹 邦実  
http://www.si-gichokai.gr.jp

# 市議会議報



中野広也・近畿議会議長  
会長(柏原市)



伊東稔浩・東海議会議長  
会長(静岡市)

近畿部会の定期総会では、新会長に中野広也・柏原市議会議長が選任されるとともに、会長提出議案である平成18年度会計予算が審議、了承された。

そのほか、岡本幾子・大阪

新年度を迎え、全国市議会議長会の9部会の定期総会が相次いで開かれている。トップを切って、近畿部会が4月13日に柏原市で、東海部会が18日に静岡市でそれぞれ総会を開き、新会長をはじめ新役員を選任したほか、要望議案等の審議を行った。

## 近畿、東海 部会総会はじまる

### 要望議案など審議

教育大学教授による「環境問題とエコライフ」と題する講演が行われた。

東海部会では、新会長に伊東稔浩・静岡市議会議長が選任されたほか、会長提出議案や各県市議会議長会から提出された要望議案を審議、可決した。

この要望議案のうち、本会定期総会に提出する議案として、「防災対策の充実強化」「合併特例債及び補助金の運用」「市町村による児童相談体制の充実」の3件を決定するとともに、予備議案1件を決定した。

各部会総会で可決された要望議案は、それぞれ3件以内を来る5月24日開催の第82回本会定期総会に提出。審議、

運輸の5委員会に付託される。

各委員会では要望書に取りまとめ、要望実現に向け政府をはじめ関係方面へ運動を展開していくこととなる。

このほか東北部会など7部会の定期総会は、4月中旬から5月上旬にかけて順次開催される。

## 地方自治危機突破総決起大会

5月31日、東京・九段会館で開催

本会など地方六団体で構成する地方自治確立対策協議会は、地方分権推進連盟との共催により、5月31日、「地方自治危機突破総決起大会」を下記のとおり開催いたします。

地方分権改革を推進するうえでは、税源移譲、一般財源の総額確保を実現し、安定した地方税財政基盤を構築することが重要な課題となっています。今大会は、地方の厳しい財政状況の打破と未完の地方分権改革を強力に推進するため、一致団結し関係方面へ強く訴えることを目的としています。大会終了後には、政府・国会などに対する実行運動も予定しています。議長各位のご参加をお願いいたします。

なお、開催案内は近日中に役員市等の議長宛てに送付いたします。

記

日時：平成18年5月31日(水) 12:00~13:00

場所：九段会館ホール  
(東京都千代田区九段南1-6-5)

出席者：地方公共団体関係者 約1,000人  
(都道府県知事、都道府県議会議長、市長村長、市町村議会議長ほか)

申込み：送付の出力報告書にて  
問合せ：全国市議会議長会 担当：政務第一部

TEL 03(3262)5235 FAX 03(3263)5751

## 議員年金改正法案の早期成立を要望

### 三共済会

市議会議員共済会(会長 国松誠・藤沢市議会議長)、都道府県議会議員共済会、町村議会議員共済会の三共済会は4月13日、地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律案の早期成立を求め要望運動を実施した。

要望は、自由民主党の武部勤・幹事長をはじめ久間章生・総務会長、青木幹雄・参議院議員会長、片山虎之助・参

議院幹事長らと与党幹部に行つた。

同改正法案は、去る2月に取りまとめられた地方議会議員年金制度検討会報告(本紙第1609号参照)を踏まえたもの。市町村合併の急速な進展等による会員減少や退職年金受給者増加などの影響で、厳しい財政状況にある議員年金制度の長期安定を図ることを目的としている。

同改正法案は、3月7日に今通常国会へ提出されている。(要望の全文は本会ホームページに掲載)

# 21世紀ビジョン懇談会 と意見交換 ―六団体



意見交換の模様。左手前は国松会長

全国市議会議長会の国松誠会長(藤沢市議会議長)をはじめ地方六団体の代表は、4月12日に総務省で開催された地方分権21世紀ビジョン懇談会(総務大臣の私的機関)に出席。同懇談会座長の大田弘子・政策研究大学院大学教授や小早川光郎・東京大学大学院法学政治学研究所教授ら各委員と意見交換を行った。当日は、国松誠会長が「地方は市町村合併の推進により、議員数や議員報酬の大幅な削減を図るなど、自己改革

を行っている」と、これまでの地方の行革努力を強調。そのうえで「地方が率先して行政改革に取り組むなか、国も積極的に行政のスリム化を図るべき」と主張した。また、同懇談会が検討を進めている破綻法制の制度設

## 地方財政に関し 総務大臣と会合 六団体

本会の福永稔副会長(甲府市議会議長)ら地方六団体代表は4月13日、総務省内で開かれた竹中平蔵・総務大臣との会合に出席し、地方財政に関する意見交換を行った。冒頭、竹中大臣は、経済財政諮問会議等で議論されている国と地方の歳出・歳入一体改革について「これから山場を迎えるなか、国・地方の双方が全力を挙げて取り組むべき」と決意を述べた。これに対し六団体は、同改革を進めるに当たり、地方の考え方や主張を十分踏まえ議論を進めるよう求めた。

計、財務監査や財政再建を行う第三者機関の設置などについても慎重に検討するよう求めた。

このほか、石井正弘・岡山県知事が、「地方分権改革の進め方」について、地方六団体の考えを同懇談会に示し、地方税の充実強化や地方交付税のあり方などについて、地方の意見を尊重し検討するよう求めた。



会合に出席する福永副会長(甲府市、右手前)

また当日は、今通常国会に提出された行政改革推進法案

## 総会決議案まとめる

病院協役員会  
全国自治体病院経営都市議会協議会(会長||中畑恒雄・

## 政策金融改革に関する緊急意見(要旨)

3月10日、「行政改革推進法案」が閣議決定された。この法案では、公営企業金融公庫は、『平成20年度において、廃止するもの』とされ、地方公共団体のための資金調達を同公庫により行う仕組みは、『資本市場からの資金調達その他金融取引を活用して行う仕組みに移行させる』とされた。また、政府は、『移行の後の仕組みのために必要な財政基盤を確保するための措置を講ずる』としている。地方公共団体向けの財政融資資金については、新しい仕組みへの『移行の状況を見極めつつ、段階的に縮減する』とされている。

現在、公営企業金融公庫が廃止された後の新たな組織がどのようなものになるのか、具体的に未だ示されていない。このため、今後の資金調達のあり方等について多くの地方公共団体が非常に不安を感じている。

よって、国は、今後、地方公共団体の意見を十分に踏まえ、以下の内容を実現するよう強く要請する。

記

1. 住民生活に欠かせない上・下水道、交通、病院をはじめとする公共施設整備が円滑に実施できるよう、長期・低利の資金を安定的に供給する共同債券発行機能を引き続き確保すること。
2. 上記の機能を十分に果たすため、必要な財政基盤を確保できるよう、現在の公庫の財務基盤(債券借換損失引当金、公営企業健全化基金等)については、新たな組織に確実に継承させること。
3. これらを可能とするため、新たな法的枠組みを構築すること。

平成18年4月13日

地方六団体

に、平成20年度で公営企業金融公庫を廃止することが盛り込まれたことを受け、六団体が「政策金融改革に関する緊急意見」||要旨別掲||を取りまとめ、関係方面に要望運動を実施した。

小樽市議会議長)は、4月12日、ルポール麹町で正副会長・監事・相談役会議を開催。18年度予算案等を了承するとともに、5月11日の総会に提出



あいさつする中畑病院協会長

する決議案をまとめた。決議案には、自治体病院の

社会的使命が達成され地域住民のニーズに答えられるよう、自治体病院に係る地方交付税措置や病院事業債の充実強化 地域医療を担う医師の確保対策の充実 技術料を中心とした社会保険診療報酬体系の実現 などを盛り込んだ。当日は、総務省の大西秀人・地域企業経営企画室長が「自治体病院経営の現状と課題」について説明した。

# 市議「無所属」が68%

## 所属党派調べ—総務省

市議会議員の所属党派別人員調

単位：人(%)

党 派	平成17年12月	平成16年12月
公明党	2,378 (9.6)	2,256 (10.7)
日本共産党	2,162 (8.7)	1,994 (9.4)
自由民主党	1,819 (7.4)	1,835 (8.7)
民主党	696 (2.8)	663 (3.1)
社会民主党	435 (1.8)	439 (2.1)
自由党	24 (0.1)	27 (0.1)
諸 派	249 (1.0)	251 (1.2)
無 所 属	16,723 (67.6)	13,484 (63.8)
計	24,486	20,949
欠 員	258 (1.0)	202 (1.0)
定 数 合 計	24,744 (100.0)	21,151 (100.0)

(注) 構成比は、小数点以下第二位を四捨五入

総務省は3月29日、「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調査」を発表した。これは17年12月31日現在在職する者のそれぞれの立候補届出時における所属党派をまとめたもの。

調べによると、全国の市議会議員(特別区を含む。以下同じ)の定数合計は、2万4744人で前年より3593人増えている一方、町村議会議員の定数合計は、前年より1万1895人減って2万1753人となっている。

市議会議員の所属党派別をみると、最も多いは無所属

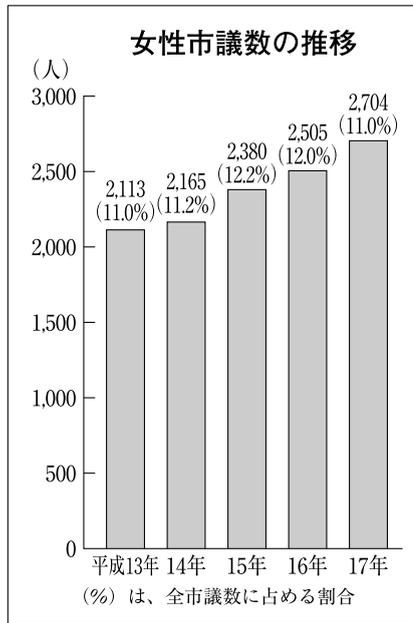
(政党や政治団体に所属さない者)の1万6723人で、定数合計に占める割合は67.6%、前年より3.8ポイント増となっている。次いで公明党2378人(定数の9.6%)、日本共産党2162人(同8.7%)、自由民主党1819人(同7.4%)、民主党696人(同2.8%)の順となる(右表参照)。

**女性の35%「無所属」**

全国の女性市議数は2704人で、前年より199人増えていますが、全市議数に占める割合は11.0%と

なっている(左表参照)。

所属党派別にみると、無所属の936人が最多で、女性市議の34.6%。次いで日本共産党774人、公明党649人、諸派158人の順。



女性市議の占める割合が高い党派は、諸派63.5%、日本共産党35.8%、公明党27.3%などである。

### (財)東京市政調査会 第13回『都市問題』公開講座 ローカル・マニフェストは 自治体政治を変えるか

第13回「都市問題」公開講座は、「ローカル・マニフェストは自治体政治を変えるか」をテーマとして、下記の日程で開催します。現在、ローカル・マニフェストは自治体選挙での首長選出の有効な判断基準となりつつあります。ローカル・マニフェストは自治体政治をどのように変えたのか。自治・分権型の自治体政治を一段と切り拓くために何が問われているのか。幅広く検証したいと思います。多数の方々のご参加をお待ちしております。

- ◎基調講演  
石田 芳弘氏(犬山市長、ローカル・マニフェスト推進首長連盟共同代表)
- ◎パネルディスカッション  
パネリスト  
相澤弥一郎氏(日本青年会議所国民民主権確立特別委員会委員長)  
逢坂 誠二氏(衆議院議員、前北海道二セコ町長)  
長谷川朝恵氏(かながわローカル・マニフェスト推進ネットワーク副代表)  
前田 和敬氏(社会経済生産性本部政治改革推進部長、21世紀臨調事務局長)  
コーディネーター：新藤 宗幸氏(千葉大学教授)

記

日 時：平成18年6月3日(土) 13:30~16:30  
場 所：日本プレスセンター10階ホール  
(東京都千代田区内幸町2-2-1)  
参 加 費：無料  
申 込 み：東京市政調査会ホームページで  
(<http://www.timr.or.jp>)  
申込期限：平成18年5月26日(金)  
(満席となり次第、受付終了)  
問 合 せ：(財)東京市政調査会 研究会  
TEL 03(3591)1261

### 議事所在地変更

いなべ市(三重県)  
〒511-0292  
いなべ市大安町大井田2705番地  
TEL 0594(78)3515  
FAX 0594(78)3516

### 行事予定

5月11日 全国自治体病院経営都市議会協議会(理事  
会)午前11時半、九段会館  
・総会(午後1時、同)  
5月18日 全国市議会議長

### お知らせ

本紙5月5日付第1  
615号は、第161  
6号と併せ、5月15日  
付第1615・16号  
として発行します。

会基地協議会(正副会長・  
監事・相談役会)午後1時  
半、小松市)  
5月23日 全国市議会議長  
会(部会長会議(午前11  
時、全国都市会館)・理事  
会(午後1時半、同))

議会人事

富山	豊後高田	別府	さくら	南丹	小城	長浜	志布志	輪島	副議長	木更津	宮若	富津	長崎	朝倉	真庭	佐渡	奄美	篠山	金沢	八戸	坂東	土浦	豊前	飛騨	入間	富山	豊後高田	南丹	小城	長浜	志布志	輪島	議長		
笹木豊一(3・22)	河野徳久(3・20)	吉富英三郎(3・17)	中山昭三(3・17)	村田正夫(3・2)	北島文孝(3・1)	吉川富雄(2・22)	福重彰史(2・21)	榎原正洋(2・8)		平野秀樹(3・30)	遠藤嘉昭(3・29)	嶋田政市(3・29)	山口博(3・28)	手嶋栄治(3・28)	池田正行(3・28)	梅澤雅廣(3・28)	前田幸男(3・24)	小林正典(3・24)	的場豊征(3・24)	坂本美洋(3・24)	金久保幸男(3・23)	折本明(3・23)	秋成茂信(3・22)	松山一夫(3・22)	鹿倉貞二(3・22)	松本弘行(3・22)	菅健雄(3・20)	高橋芳治(3・2)	南里和幸(3・1)	押谷憲雄(2・22)	谷口松生(2・21)	中山勝(2・8)			
入間	飛騨	豊前	土浦	坂東	室戸	中津	八戸	金沢	富士見	篠山	鹿島	奄美	佐渡	真庭	朝倉	長崎	宮若	木更津	事務局長	輪島	志布志	長浜	南丹	日光	朝倉	国東	礼幌	夕張	網走	歌志内	深川	八戸	十和田	三沢	むつ
宮岡治郎(3・22)	深田直彦(3・22)	中村勇希(3・22)	川口玉留(3・23)	渡辺昇(3・23)	堺喜久美(3・23)	安藤豊治(3・23)	越後賢司(3・24)	東出文代(3・24)	深井平次(3・24)	市野忠志(3・24)	吉田正明(3・24)	奈良博光(3・24)	金子克己(3・28)	金谷光二(3・28)	吉松和助(3・28)	福島満徳(3・28)	塩川恭子(3・29)	鈴木日出男(3・30)		田中直人(2・1)	徳重昭一(2・21)	川崎節夫(2・22)	勝山秀良(3・2)	渡辺幸雄(3・20)	柴山勇次(3・28)	長木善成(3・31)	小島信行(4・1)	有馬真一(4・1)	吉野守(4・1)	加津武(4・1)	齋藤政友(4・1)	野坂哲(4・1)	成田秀男(4・1)	小島昭夫(4・1)	
花巻	角田	秋田	男鹿	湯沢	米沢	酒田	寒河江	尾花沢	南陽	南相馬	二本松	長岡	上越	十日町	五泉	佐渡	小矢部	七尾	小松	白山	敦賀	大野	鯖江	諏訪	小諸	青梅	町田	国分寺	清瀬	江東	杉並	足立	川崎	横須賀	小田原
高橋通義(4・1)	菅野健(4・1)	浅野三基夫(4・1)	今泉金正(4・1)	榎本真一(4・1)	大竹正家(4・1)	佐藤哲雄(4・1)	鹿間康(4・1)	笹原登(4・1)	佐藤正昌(4・1)	田中義之(4・1)	菅野光夫(4・1)	島岡貞雄(4・1)	片岡明(4・1)	村山潤(4・1)	丸山伸夫(4・1)	山田富巳夫(4・1)	下川章(4・1)	大松博一(4・1)	茂岩茂(4・1)	日野賢治(4・1)	山本繁(4・1)	下河育太(4・1)	岡山和市(4・1)	小松重一(4・1)	柏木信之(4・1)	福岡良正(4・1)	五十嵐隆(4・1)	峯岸桂一(4・1)	後藤知幸(4・1)	岡部正道(4・1)	山本宗之(4・1)	西條直樹(4・1)	小貴修一(4・1)	桑名義則(4・1)	内野勉男(4・1)
逗子	南足柄	綾瀬	大月	甲斐	土浦	高萩	鉾田	小山	加須	狭山	鴻巣	深谷	戸田	八潮	三郷	千葉	市原	流山	我孫子	鴨川	君津	浦安	四街道	八街	富里	静岡	富士宮	島田	御殿場	裾野	湖西	伊豆	半田	西尾	蒲郡
柏村淳(4・1)	鎌田雅博(4・1)	樋口賢一(4・1)	幡野好美(4・1)	植松芳俊(4・1)	中川新衛(4・1)	鈴木修司(4・1)	戸島光儀(4・1)	神田昇一(4・1)	野中一男(4・1)	小澤勝美(4・1)	榎本一真(4・1)	森利明(4・1)	山田一彦(4・1)	豊田貞男(4・1)	千ヶ崎弘司(4・1)	松本光司(4・1)	高澤勇夫(4・1)	北村一郎(4・1)	尾井川一(4・1)	平野重敏(4・1)	溝口進(4・1)	村田彰義(4・1)	林田邦男(4・1)	山本朝光(4・1)	今井清治(4・1)	上原安夫(4・1)	吉野裕彦(4・1)	増田哲夫(4・1)	勝又章芳(4・1)	清水信夫(4・1)	渡邊貢(4・1)	井上清蔵(4・1)	宮崎泰保(4・1)	鈴木英昭(4・1)	佐藤和男(4・1)
新城	岩倉	田原	尾鷲	龜山	千曲	志摩	美濃	恵那	土岐	山県	飛騨	岸和田	東大阪	池田	八尾	富田林	箕面	門真	藤井寺	宮津	八幡	京丹後	守山	栗東	湖南	西宮	伊丹	三田	南あわじ	朝来	桜井	田辺	紀の川	境港	倉敷
小林三三夫(4・1)	大西富美男(4・1)	加子勉(4・1)	吉澤寿朗(4・1)	西川省三(4・1)	赤沼義敏(4・1)	井上司(4・1)	吉田金義(4・1)	伊藤常光(4・1)	浜島知典(4・1)	船戸時夫(4・1)	白川修平(4・1)	西田義則(4・1)	木村康郎(4・1)	中西教章(4・1)	森田保次(4・1)	道旗安幸(4・1)	中腰勇雄(4・1)	榎本進(4・1)	樽谷英男(4・1)	岡崎正美(4・1)	鴨田隆(4・1)	安田剛(4・1)	小嶋宣秀(4・1)	北野一郎(4・1)	中敷定次(4・1)	高平秀男(4・1)	溝端義男(4・1)	井上正平(4・1)	稲山易一(4・1)	山下孝晴(4・1)	中川行央(4・1)	福井量規(4・1)	吉田弘(4・1)	山本修(4・1)	池田一男(4・1)
真庭	美作	呉	大竹	山口	美祢	徳島	阿南	善通寺	東かがわ	松山	今治	八幡浜	新居浜	西条	四国中央	伊予	西予	南国	北九州	中間	小郡	大野城	多久	小城	諫早	八代	水俣	玉名	大分	別府	臼杵	豊後高田	宇佐	宮崎	霧島
池亀進(4・1)	安藤清(4・1)	芝山公英(4・1)	太田勲男(4・1)	木村義明(4・1)	金子彰(4・1)	池田建市(4・1)	眞本静生(4・1)	川向武(4・1)	坂東秀明(4・1)	松井豊(4・1)	村上公哉(4・1)	菊池敏和(4・1)	神野盛雄(4・1)	明日昭敏(4・1)	石川良親(4・1)	早崎隆壽(4・1)	九鬼則夫(4・1)	中山泰夫(4・1)	加藤憲治(4・1)	谷川博(4・1)	田籠義弘(4・1)	見城良春(4・1)	本島和典(4・1)	南未春(4・1)	早田実(4・1)	坂田憲治(4・1)	牛迫秀基(4・1)	松岡誠也(4・1)	宮脇邦文(4・1)	岩本常雄(4・1)	吉田修二(4・1)	有吉正則(4・1)	佐野充徳(4・1)	成枝靖夫(4・1)	